

報道関係各位

平成26年12月16日

災害や戦争、飢餓や病気で苦しむ人々を救うために！

NHKと共同で「海外たすけあい」募金キャンペーン を12月25日まで実施

日本赤十字社(東京都港区)は、災害や戦争、飢餓や病気で苦しむ人々を救うため「たすけあいを、わすれない」をテーマに、NHKと共同で「海外たすけあい」募金キャンペーンを行っています。

東日本大震災で160以上の国・地域からあたたかい支援が送られたように、今度は私たちが世界のために出来る事を。(www.jrc-kaigai.jp)

「NHK海外たすけあい」でお寄せいただく募金は次のような事業に使われます。

- ・紛争で苦しむ人への支援 — 2.6億円
- ・災害で苦しむ人への支援 — 3億円
- ・病気から身を守る為の支援 — 2.5億円
- ・事務経費 — 3,600万円

——スマトラ島沖大地震から10年——

日本赤十字社は発災以来、このような住宅再建を始め、給水施設の復旧と衛生教育、災害看護教育の支援活動を行ってきました。



「10年前の津波で子どもを亡くしました。
それでもこの家をいただいて、ここで新たに
二人の子を授かれたのはこの上ない幸せです」

そう話してくれたのは、インドネシア アチェバラ県ウオイラ郡バカット村に住むアウルドゥカスさん。奥さんと長女、次男の4人で慎ましくも幸せな日々を送っておられます。



※日赤は、発災から10年後のスマトラ島取材しました。映像の提供も行っておりますので、報道機関の皆様方におかれましても、是非取り上げていただきたくお願いいたします。

【本リリースへのお問い合わせ】